



## 事業紹介

福島県では、福島イノベーション・コースト構想の一環として、ロボット関連産業の集積を進めています。

ロボットの一大研究開発拠点である「福島ロボットテストフィールド」は、滑走路や市街地を模したフィールドなどが整備されており、空飛ぶクルマや自動運転、災害対応ロボットなどの最先端の研究が行われています。

本拠点を最大限活用し、新たな産業の芽が生まれることで、本県の復興がさらに前進するよう、県内企業・団体の方々と様々な取組を行っています。



商工労働部ロボット産業推進室  
黒須翔葵（行政事務）

## 事業を実施する中で乗り越えた苦勞

福島県にとってロボット産業は、新しい産業への大きな挑戦です。担当者としては、福島県のロボット産業を活性化させていくためには何をすべきか、常に考えていく必要があります。

特に前例のない新しい取組みや、事業をより良いものに改善していくためには、自ら考え、判断しなければならない機会が多く、難しさを実感することもあります。しかし、経験豊富な先輩方の意見も取り入れ、県内企業の方々にとって何が最善なのかを考え抜くことで、困難を乗り越えることができました。

## 仕事のやりがい

新しいことに挑戦している企業や団体の方々と接する機会が多く、日々刺激をいただいています。この仕事を通じて、新しい挑戦へのお手伝いができることに、とてもやりがいを感じています。

※掲載内容は、2020年3月現在のものです。

